

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

現在日本国内では急速に新規感染者が増加しております。本市も同様の傾向です。

その対応として、医師会や医療機関のご協力により、PCR検査の実施可能な医療機関を424施設に拡大しました。また、高齢者・障害者施設に対する検査についても4,328施設において無料で受検できる体制を構築しています。さらに保健所の人員体制の強化や、自宅療養者への食料品配送体制の強化に加え、市内協力医療機関と連携した健康観察の実施など、感染者が安心して療養できる支援体制を整えています。

夏本番を迎え、厳しい暑さが続いています。エアコン使用時は締め切りがちになりやすいので、換気に配慮しながら、適切に利用するなど、引き続き、感染防止対策にご協力をお願いします。この感染拡大を乗り越えるには、市民や事業者の皆様のご協力が不可欠です。一丸となって感染防止対策に取り組んでいきましょう。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会 副会長も務める

指定都市市長会議等が開催



7月19日、「第54回指定都市市長会議」が開催されました。午前中のエネルギー・環境部会では、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金制度」について、より柔軟な交付金制度の必要性と地方自治体が地域のエネルギーの使用実態を把握するための仕組みの構築の必要性に関して意見を述べました。

午後の役員会・市長会では、通常の議案に加え、室伏スポーツ庁長官及び金子総務大臣、牧島デジタル大臣との意見交換を行いました。

指定都市市長会議終了後の、「指定都市 自然エネルギー協議会 第14回総会」では、活動報告と政策提言（案）の決議についての審議を行いました。私は、幹事として、政策提言（案）について、説明し、原案は承認されました。

その後、指定都市 自然エネルギー協議会を代表して、環境省の大岡副大臣と経済産業省の石井副大臣へそれぞれ提言を行いました。